

学校評価説明会副校長説明原稿

平成30年2月22日（木） 14：40～体育館

副校長 手代木

- 保護者の皆様の全体で82%の方々から学校評価に回答をお寄せいただきました。この数字だけを見ましてもいかに皆様の関心が高く、また本校への期待が大きいかを認識したところでございます。18項目全てに渡って概ね高い評価をいただくことができました。また自由記述では「いつも子どもたちをよく見てくださりご指導いただきありがとうございます。指導の工夫についてもよく伝わりました。とても感謝しております。お体大切に頑張ってください。」
このように多くの保護者の皆様が温かく私たちの教育活動を見守っていただいていることが分かり、改めて身が引き締まる思いで読ませていただきました。

- 一方、自由記述には私たちに対する貴重なご意見も多数含まれていました。

- この後教頭先生から来年度の行事予定も含めいくつかの細やかな改善点や変更点をお話しさせていただきますが、私からは頂いたご意見から大きく2点と来年度の公開研究会説明させていただきます。

- 1点目は合唱の会についてです。
今年度から会場を仙台サンプラザからイズミティに変更して開催致しました。初めての会場なので、私たちも手探りでの運営でしたが、概ね皆様のご理解を得て無事終了することができました。ただ、座席数に制限があったため今回の学校評価の自由記述でも「とても素晴らしい合唱の会なので、より多くの人にみてもらいたい」という意見に代表されるように「一家庭一座席」に対するご意見や要望が複数寄せられました。
- ご意見の中心はこれまで同様「人数制限」をなくして欲しい、というものでした。
1年に1度の合唱の会です。子どもたちに対する保護者の皆様のお気持ちを察するとご指摘の通りだと思います。私たちも今回の会場の変更にあって一番苦慮したところでした。その一方で、会場にかかる音響や費用などの課題をこれまで抱えてきたことも事実です。そこで私たちは「合唱の会」の原点に戻って考え、
 - ・子どもたちが合唱を発表する上でよりよい会場、
 - ・聴き手と歌い手が一体となって行事を作り上げることができる会場という点を考慮し、イズミティでの開催に踏切りました。
- 来年度も継続してイズミティで開催いたします。ただ、次年度以降も引き続きよりよい会場の確保や運営方法につきましては検討していきたい、と考えております。十分な説明には至らないかと思いますが、何卒ご理解いただければ幸いです。
- 一方来年度は7月の土曜日にフリー参観と合わせて「全学年の学年合唱を発表する機会（仮：「合唱集会」）」を設定しました。これは年間を通した合唱活動のサイクルをより定着させることがねらいの新たな企画です。会場は本校体育館で行いますのでどうぞ皆さんの皆様のご来校をお待ちしております。

さらに10月には大学や他の附属校園の協力得て本校図画工作部が中心になって「アートフェスティバル」を実施する予定です。どうか、そのような機会でも学校に足を運んでいただけるようお願い申し上げます。

□2点目は学校からの情報発信についてです。

今回の学校評価でもブログやメールでの情報発信につきましては高い評価をいただいております。また「校長室だより」を拝読しております、という何とも嬉しいお声も届けていただきました。

□ご承知の通り、本校では学校だよりをはじめ学年だよりや週予定表など様々な情報を紙媒体でこれまで提供して参りました。これらの情報は学校の様子を保護者の皆様にお伝えするには効果的である反面、情報が多くなり過ぎたり、教員の業務量の増加につながっている傾向がありました。そこで、来年度はこれらの情報発信の内容や方法について改革を進めてみたい、と考えております。

□一方で、学校からの情報発信の機会が少なくならないように、ICT教育の先進校として、HPを一層充実させるとともに、子どもたちが必要なことはきちんとメモを執る習慣を育成できるように全校で取組んでいきたいと考えています。

□体制を整えば今年度、早速3月から試行させていただきたい、と考えておりますので何卒ご理解頂きたいと思えます。

□最後に3点目公開研究会の時期の変更についてです。

□ご承知の通り、附属学校としての存在意義が今まで以上に求められています。

私たちは来年度以降も「体も心もたくましく、しかも、しなやかな子ども」を学校教育目標に掲げ種々の教育活動に取り組むことに変更はございません。

□このような中で、今まで以上に附属小学校としての特色を出した教育活動を行うことと同時に教員の長時間労働を改善し、「働き方改革」を推進することは喫緊の課題であります。今回の保護者の皆様からの記述にも

「お休みの日でも出て来られ、朝早くから夜遅くまで学校にいらっしゃる先生方には頭が下がりますが、健康・リフレッシュも大切に、しっかりお休みいただきたく願います」というような意見も寄せられました。この点は私たちも全く同意見です。

□そこで、附属小の教員が1年間を見通して少しでもゆとりをもった計画の中で新たな教育課題への対応などに取り組むために公開研究会は平成31年2月に2日間で行うことを現在予定しております。そのためより研究を充実させていくために、一部の学校行事や学年行事への取り組みについて内容や方法を見直していきたい、とも考えております。詳細につきましては今後随時お知らせしていきたい、と考えております。

□年末のお忙しい中、保護者の皆様におかれましては学校評価に協力していただいたことに改めて感謝申し上げますとともに、皆様からいただいたご意見は職員一同真摯に受け止め、吉川校長先生を中心に職員一丸となって今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。今後とも附属小学校の教育活動へのご理解とご支援をお願いいたします。

学校評価説明会教頭説明原稿

教頭 佐藤浩

それでは、来年度の行事予定といくつかの改善点について御説明いたします。

まずは資料裏面、「主な学校行事予定」を御覧ください。

はじめに、来年度の公開研究会です。2月1日（金）と2日（土）の二日間で開催予定です。

次に、「なかよし運動会」は、今年度同様 秋、9月29日に予定しています。

「合唱の会」は、12月12日（水）になります。先程の副校長先生からの説明のとおり、来年度もイズミティ21を会場に行います。

その他、新たな取組として7月7日（土）にフリー参観を予定しています。この日には全学年の学年合唱の発表も予定しています。

11月にはアートフェスティバルとして、大学や附属校園と連携し、校内に図工作品を展示・鑑賞できるような行事を計画しています。

表に示されました○印の日は学校開放日です。もちろん、○が付いていない日でも附属小は保護者の皆様が学校にいらして良いこととしています。但し授業などを参観される際には担任に事前に申し出てくださるようお願いいたします。

なお、ここに示しました日程については、あくまでも今日現在の予定です。変更については毎月出しております「附小だより」や本校 HP でお確かめください。

次に、改善点2点について御説明いたします。

一つは学校から配付するプリント類について、まずは学年だよりです。

学年だよりの発行を月に一度と定例化し、多くなりがちな紙媒体による情報を精選します。その分、情報発信の機会が少なくならないように、HPの学年のコーナーを通して子供たちの活動の様子やお知らせ等、様々な情報を発信していきたいと考

えています。

2点目は週予定の内容についても再検討しました。

これまでは、教科や単元名、持ち物や担任からの通信など様々な情報を掲載しておりました。一目で多数の情報が分かるというメリットがあるのですが、書かれている情報のみに頼りがちな子供の姿が見られるようになりました。

極端な例ですが、予定の欄に「書初め」とあっても、持ち物の欄に「習字セットを持ってきましょう」と書かれていなければ、持ってこないでしまう、ということも時には見られました。

子供たちに、予定を見通し、必要なことをしっかりメモをとらせる習慣をつけさせるためにも週予定の内容を簡略化していきます。

この2点は、今年度3月に試行し、改善を加えながら来年度に本格実施を目指しています。

学校教育目標の具現化と職員の働き方改革を目指した新たな取組について、保護者の皆様の御理解と御協力をいただければ幸いです。